



ナンシー・バーグマン
局長

カリフォルニア州保健福祉庁
発達障害サービス局
1215 O Street, Sacramento, CA 95814
www.dds.ca.gov



ギャビン・ニューサム
知事

2023年11月22日

宛先： 地域センター事務局長

件名： 自己決定プログラム（SDP） - 物品およびサービスの更新

自己決定プログラム（SDP）の主要原則に則り、参加者は自身の個人プログラムプラン（IPP）の目標達成に必要なサービスとサポートを購入するための個人の予算決定を行う権限があります。本通信の目的は、[2022年1月13日](#)付のSDPにおける物品およびサービスに関する同省のガイダンスを更新し、SDP参加者の予算の枠外で賄われるサービスとして、付録Bに連携ファミリーサービス（Coordinated Family Services：CFS）を追加することです。これに伴い、付録Bと[自己決定プログラム個別予算計算および認証ツール](#)が更新されました。

コストがSDP予算に含まれるか否かの決定

個人の予算またはSDP支出計画に物品またはサービスを含める前に、計画担当者はまずその物品またはサービスがIPPで特定されるニーズまたは目標にどのように対処するのかを明確にしなければなりません。付録Aには、物品またはサービスがIPPの目標に対処するものかどうかを、参加者と計画担当者がどのように決定できるかについての詳細な情報を記載しています。

発達障害サービス局からの[2019年1月11日](#)付けの個人の予算と支出計画に関する指令にあるように、SDPの給付金は次の2つの条件を満たす物品とサービスのみに使えます。

- 連邦メディケアおよびメディケイドサービスセンターの承認したもの
- 他の給付金源（Medi-Cal、在宅支援サービス、学校など）では得られないもの

しかし、各自のIPPの目標達成のための個人予算によって給付を受けられるもの以外の物品やサービスが必要な場合もあります。付録Bには、支出計画の個人予算から支出できる物品とサービスに関するガイダンスと、個人予算の枠外で取り扱われるものについて記載しています。

地域センター事務局長
2023年11月22日
ページ2

サービスタイプの判断（参加者向けの物品とサービス）

SDPは「参加者向けの物品とサービス」として規定するタイプのサービスを許容していません。付録Cのフローチャートは、計画担当者が物品またはサービスが参加者向けの物品とサービスのサービスコード333で給付金を使えるかどうかを判断するのに役立ちます。

この通信についてご質問のある場合は、sdp@dds.ca.govにお問い合わせください。

敬具

原版署名者：

ヴィッキー・L・スミス博士
デピュティー・ディレクター
政策・プログラム開発ディビジョン

付録

cc： 地域センター管理者（Regional Center Administrators）
地域センター消費者サービス担当ディレクター（Regional Center Directors of Consumer Services）
地域センターコミュニティサービス担当ディレクター（Regional Center Community Services Directors）
地域センター機関協会（Association of Regional Center Agencies）
発達障害に関する州カOUNシル（State Council on Developmental Disabilities）
ナンシー・バーグマン（発達障害サービス局）
ブライアン・ウィンフィールド（発達障害サービス局）
カーラ・カスタニェータ（発達障害サービス局）
ジム・ナイト（発達障害サービス局）
アーニー・クルス（発達障害サービス局）
スージー・レクアース（発達障害サービス局）
キャスリーン・デンプシー（発達障害サービス局）